

《馬乗》の建築短歌

大阪工業技術専門学校在学中において「大阪について学習してみよう」と考える事はありませんでしたが「人間五十年」という有名な言葉もあり、私もそろそろ終わりだな？と考えてみると、優先的に学習する事にしました。

文献資料は様々ありますが、私は大阪くらしの今昔館の〈沿革〉にも記載されている大阪都市住宅史編集委員会〈編〉『まちに住まう・大阪都市住宅史』平凡社〈1989年〉を用意しました。当該資料は〈沿革〉に記載されているように、昭和六十一年・1986年から3年計画で出版された良質な文献資料です。

『誰でも読める日本現代史年表』昭和六十一年・丙寅・1986年を参照すると〈この年〉円高続き輸出産業の中小企業に痛手。〈この頃〉東京など都市圏の地価暴騰。と記載されています。当時、私は義務教育に就学していましたが、内閣総理大臣・中曽根康弘さんがブラウン管テレビに映っていた事は覚えています。

また、大阪工業技術専門学校の歴史を調べると〈第17期〉総会をチサンホテル心斎橋で開催。サントリー出前寄席〈漫才師〉坂井くにお・とおる来演と記載されております。お二人の映像資料は『YouTube』でも視聴する事ができます。



〈穂積和夫さんのイラスト〉



〈大阪くらしの今昔館と天神橋筋商店街〉

私が大阪工業技術専門学校在学中に毎日通っていた天満橋についても『まちに住まう・大阪都市住宅史』で説明されていますし、近隣の建築物についてはギャラリー間〈編〉『建築MAP大阪／神戸』TOTO出版〈1999年〉を参照してください。尚、今年の9月21日に開催される〈第15回〉キャチロボバトルコンテストに、大阪工業技術専門学校ロボット研究部の皆さんが参加されるそうなので楽しみです。応援しています。

おわりに、夏の日の建築短歌を詠ませていただきます。

～ 商売と 夜も笑顔の 大阪に

空襲のあと あの日の涙 ～

大阪工業技術専門学校 工業専門課程 I 部 建築学科 1998年卒業 川島 瑞穂